



2018年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年10月1日
東

上場会社名 象印マホービン株式会社 上場取引所
 コード番号 7965 URL <http://www.zojirushi.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 市川 典男
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡本 茂久 (TEL) 06-6356-2368
 四半期報告書提出予定日 2018年10月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年11月期第3四半期の連結業績(2017年11月21日～2018年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|----------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2018年11月期第3四半期 | 64,426 | △1.2 | 5,198 | △14.2 | 5,597 | △13.4 | 3,746 | △10.7 |
| 2017年11月期第3四半期 | 65,233 | △5.9 | 6,059 | △38.0 | 6,461 | △24.8 | 4,197 | △22.5 |

(注) 包括利益 2018年11月期第3四半期 3,273百万円(△46.8%) 2017年11月期第3四半期 6,148百万円(133.8%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年11月期第3四半期 | 55.44 | - |
| 2017年11月期第3四半期 | 62.13 | - |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2018年11月期第3四半期 | 90,160 | 68,910 | 75.7 |
| 2017年11月期 | 92,928 | 67,672 | 71.9 |

(参考) 自己資本 2018年11月期第3四半期 68,265百万円 2017年11月期 66,832百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2017年11月期 | - | 11.00 | - | 11.00 | 22.00 |
| 2018年11月期 | - | 15.00 | - | - | - |
| 2018年11月期(予想) | - | - | - | 15.00 | 30.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2018年11月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当11円 記念配当4円
 2018年11月期期末配当金(予想)の内訳 普通配当11円 記念配当4円
 詳細は、2017年12月25日発表の「創業100周年記念配当に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2018年11月期の連結業績予想(2017年11月21日～2018年11月20日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 84,200 | △1.4 | 6,200 | △20.7 | 6,600 | △22.3 | 4,500 | △15.7 | 66.59 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社 (社名) 、 除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2018年11月期3Q | 72,600,000株 | 2017年11月期 | 72,600,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2018年11月期3Q | 5,014,281株 | 2017年11月期 | 5,031,564株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2018年11月期3Q | 67,577,074株 | 2017年11月期3Q | 67,568,864株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境は改善傾向となり、設備投資にも増加の動きが見られるなど緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、中国を始めとするアジア新興国等の経済の先行きや米中貿易摩擦の激化懸念などによる世界経済の不確実性の影響もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境の中で、当社グループは、かまど炊きの特徴である炎の「ゆらぎ」を再現し、釜内に激しい対流を起こすことでお米の甘みをしっかり引き出す全く新しい炊き方を採用した圧力IH炊飯ジャー『炎舞炊き』を発売し、販売強化に向けて積極的に営業活動を展開するとともに既存商品の販売にも引き続き注力いたしました。

製品区分別の概況は次のとおりであります。

調理家電製品につきましては、国内においては、マイコン炊飯ジャーの売上が増加し、圧力IH炊飯ジャーも第3四半期に新製品を発売し積極的な営業活動を展開したことにより、ほぼ前年並みの売上を確保いたしました。しかしながら、その他の炊飯ジャーは市場の停滞が継続していることなども影響し、全般的に前年実績を下回ったことにより、炊飯ジャー全体としては売上が減少いたしました。電気ポットは市場の縮小傾向もあり、低調に推移いたしました。電気調理器具では圧力IHなべの売上が増加したものの、オーブントースターが前年実績を下回ったことなどにより、電気調理器具全体としては売上が減少いたしました。海外においては、炊飯ジャーは中国市場ではIH炊飯ジャーの売上が伸長したものの、マイコン炊飯ジャーが前年実績を下回ったことにより、炊飯ジャー全体としては売上が減少いたしました。電気ポットは中国市場で売上が増加いたしました。また、電気調理器具では中国市場でグリルなべが前年実績を上回りました。しかしながら、調理家電製品の売上高は403億28百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

リビング製品につきましては、国内においては、ステンレスマグが市場の拡大傾向や商品ラインアップを強化したことなどによりワンタッチオープンタイプを中心に好調に推移し、飲み方を2通りから選べる2WAYボトルも売上が増加しました。また、保冷専用のステンレスクールボトルも猛暑の影響により大容量サイズを中心に前年実績を上回るなど、ステンレスマホービン全体としては好調に推移いたしました。海外においては、台湾市場ではステンレスマグやステンレスフードジャーなどの売上が減少したものの、中国市場ではステンレスマグやステンレスポットが好調に推移し、ステンレスマホービン全体としては売上が増加いたしました。その結果、リビング製品の売上高は205億7百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

生活家電製品につきましては、国内においては、加湿器は新製品の投入効果もあり好調に推移したものの、ふとん乾燥機や食器乾燥器の売上が減少いたしました。海外においては、台湾市場で新規投入したふとん乾燥機や衣類乾燥除湿機の売上への寄与はありましたが、生活家電製品全体としての売上高は20億17百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

また、その他製品の売上高は15億72百万円（前年同期比35.1%増）となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、ステンレスマホービンの売上が増加したことに加え、海外において現地通貨単位では前年実績を下回ったものの主力市場であるアジア地域の通貨が前年同期に比べ円安で推移したことによる海外売上高の円換算額増加がありました。しかしながら、国内外において炊飯ジャーの売上が減少したことが大きく影響し、644億26百万円（前年同期比1.2%減）となりました。利益につきましては、売上高の減少や炊飯ジャーの利益率が低下したことに加え、広告宣伝費を積極的に投下したことなどによる販売費及び一般管理費の増加もあり、営業利益は51億98百万円（前年同期比14.2%減）となりました。経常利益につきましては、55億97百万円（前年同期比13.4%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は37億46百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

・製品区分別売上実績

| 製品区分 | 販売高(百万円) | 前年同期比(%) |
|--------|----------|----------|
| 調理家電製品 | 40,328 | △4.8 |
| リビング製品 | 20,507 | 4.3 |
| 生活家電製品 | 2,017 | △0.2 |
| その他製品 | 1,572 | 35.1 |
| 合計 | 64,426 | △1.2 |

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(参考情報)

・所在地別業績

(単位：百万円)

| | 日本 | アジア | 北米 | その他 | 合計 |
|---------------------|--------|--------|-------|----------|--------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 41,431 | 18,166 | 4,828 | — | 64,426 |
| 所在地間の内部売上高 又は振替高 | 9,589 | 3,934 | 0 | (13,523) | — |
| 計 | 51,021 | 22,100 | 4,828 | (13,523) | 64,426 |
| 営業利益 | 2,048 | 1,498 | 453 | 1,196 | 5,198 |

・地域別売上高

| | 日本 | 海外 | | | | 合計 | |
|-----------------|--------|--------|--------|-------|-----|--------|--------|
| | | アジア | | 北米 | その他 | | 計 |
| | | 内、中国 | | | | | |
| 地域別売上高 (百万円) | 40,623 | 18,698 | 10,217 | 4,679 | 425 | 23,802 | 64,426 |
| 全体に占める割合 (%) | 63.1 | 29.0 | 15.9 | 7.3 | 0.7 | 36.9 | 100.0 |

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が27億67百万円減少し、負債が40億5百万円減少しました。また、純資産は12億38百万円増加いたしました。その結果、自己資本比率は3.8ポイント増加し75.7%となりました。

総資産の減少27億67百万円は、流動資産の減少32億2百万円及び固定資産の増加4億35百万円によるものであります。

流動資産の減少32億2百万円の主なものは、現金及び預金の増加13億97百万円、受取手形及び売掛金の減少15億50百万円、商品及び製品の減少22億84百万円、繰延税金資産の減少7億円であります。また、固定資産の増加4億35百万円の主なものは、工具、器具及び備品の増加2億97百万円、ソフトウェアの減少2億80百万円、繰延税金資産の増加2億88百万円、退職給付に係る資産の増加1億88百万円であります。

負債の減少40億5百万円は、流動負債の減少40億42百万円及び固定負債の増加36百万円によるものであります。

流動負債の減少40億42百万円の主なものは、支払手形及び買掛金の減少9億64百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少15億円、未払法人税等の減少9億56百万円、賞与引当金の減少5億45百万円であります。また、固定負債の増加36百万円の主なものは、繰延税金負債の減少20百万円、退職給付に係る負債の増加56百万円であります。

純資産の増加12億38百万円の主なものは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上37億46百万円、剰余金の配

当の支払17億57百万円、その他有価証券評価差額金の減少2億61百万円、為替換算調整勘定の減少2億95百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期(6～8月度)におきましては、国内の市場環境は厳しい状況が続きましたが、当社グループは炊飯ジャーの最高級機種「炎舞炊き」の投入でシェア拡大を図ったことやステンレスマホービンの売上増もあり、国内売上高は前年を上回ることができました。一方、これまで順調だった海外市場での売上高が前年を下回るなど、海外での事業環境が厳しさを増してきました。

第4四半期(9～11月度)におきましても、国内市場では新製品の投入と積極的な販売活動で引き続きシェア拡大と売上高の確保を図りますが、市場全体での需要低迷と単価下落の影響もあり、当初想定していた利益率を下回ることが懸念されます。また海外市場では、特に中国市場における景気の鈍化と市場価格の下落により、海外売上高は想定を下回る見込みです。

次期の売上回復に向け、特に中国市場においてはオリジナルも含めた新製品の投入による商品の活性化ならびに販売強化に取り組んで参りますが、2018年11月期通期の連結業績予想につきましては、上記の見通しを織り込まざるを得ず、2018年6月28日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

なお、今回の業績予想で前提としております為替レートは前回と同様、1ドル=110円です。

<通期連結業績予想>

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|---------------------------|---------------|--------------|--------------|-----------------|------------|
| 前回予想(A) | 百万円 86,400 | 百万円 7,200 | 百万円 7,600 | 百万円 5,200 | 円 76.95 |
| 今回予想(B) | 84,200 | 6,200 | 6,600 | 4,500 | 66.59 |
| 増減額(B-A) | △2,200 | △1,000 | △1,000 | △700 | — |
| 増減率(%) | △2.5 | △13.9 | △13.2 | △13.5 | — |
| (ご参考) 前期実績 (2017年11月期) | 85,363 | 7,823 | 8,493 | 5,338 | 79.00 |

※ なお、上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2017年11月20日) | 当第3四半期連結会計期間 (2018年8月20日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 28,318 | 29,716 |
| 受取手形及び売掛金 | 12,279 | 10,728 |
| 電子記録債権 | 1,328 | 1,274 |
| 有価証券 | 100 | 100 |
| 商品及び製品 | 18,889 | 16,605 |
| 仕掛品 | 277 | 260 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,634 | 2,697 |
| 繰延税金資産 | 1,661 | 961 |
| その他 | 3,297 | 3,240 |
| 貸倒引当金 | △6 | △5 |
| 流動資産合計 | 68,782 | 65,580 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 13,728 | 13,820 |
| 減価償却累計額 | △10,789 | △10,960 |
| 建物及び構築物(純額) | 2,938 | 2,859 |
| 機械装置及び運搬具 | 3,457 | 3,561 |
| 減価償却累計額 | △2,963 | △3,054 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 494 | 506 |
| 工具、器具及び備品 | 7,089 | 7,939 |
| 減価償却累計額 | △5,468 | △6,021 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 1,620 | 1,917 |
| 土地 | 7,432 | 7,431 |
| リース資産 | 1 | 1 |
| 減価償却累計額 | △1 | △1 |
| リース資産(純額) | 0 | 0 |
| 建設仮勘定 | 9 | 96 |
| 有形固定資産合計 | 12,495 | 12,811 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 3 | - |
| ソフトウェア | 2,089 | 1,809 |
| その他 | 178 | 148 |
| 無形固定資産合計 | 2,270 | 1,957 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 7,876 | 7,820 |
| 繰延税金資産 | 65 | 354 |
| 退職給付に係る資産 | 984 | 1,173 |
| その他 | 462 | 472 |
| 貸倒引当金 | △10 | △10 |
| 投資その他の資産合計 | 9,379 | 9,811 |
| 固定資産合計 | 24,145 | 24,580 |
| 資産合計 | 92,928 | 90,160 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2017年11月20日) | 当第3四半期連結会計期間 (2018年8月20日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 8,505 | 7,541 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,500 | - |
| 未払費用 | 5,824 | 5,705 |
| 未払法人税等 | 1,209 | 252 |
| 賞与引当金 | 1,100 | 554 |
| 製品保証引当金 | 211 | 189 |
| その他 | 793 | 859 |
| 流動負債合計 | 19,145 | 15,102 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,500 | 1,500 |
| 繰延税金負債 | 1,611 | 1,590 |
| 退職給付に係る負債 | 2,653 | 2,710 |
| その他 | 345 | 346 |
| 固定負債合計 | 6,110 | 6,147 |
| 負債合計 | 25,256 | 21,250 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,022 | 4,022 |
| 資本剰余金 | 4,163 | 4,183 |
| 利益剰余金 | 56,421 | 58,410 |
| 自己株式 | △972 | △969 |
| 株主資本合計 | 63,634 | 65,647 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,564 | 2,302 |
| 為替換算調整勘定 | 839 | 543 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △206 | △228 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,197 | 2,618 |
| 非支配株主持分 | 839 | 645 |
| 純資産合計 | 67,672 | 68,910 |
| 負債純資産合計 | 92,928 | 90,160 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2016年11月21日 至 2017年8月20日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2017年11月21日 至 2018年8月20日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 65,233 | 64,426 |
| 売上原価 | 43,030 | 42,719 |
| 売上総利益 | 22,202 | 21,707 |
| 販売費及び一般管理費 | 16,143 | 16,509 |
| 営業利益 | 6,059 | 5,198 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 47 | 60 |
| 受取配当金 | 114 | 121 |
| 仕入割引 | 24 | 25 |
| 持分法による投資利益 | 278 | 226 |
| 受取ロイヤリティー | 59 | 61 |
| 受取賃貸料 | 95 | 86 |
| 為替差益 | 96 | 41 |
| その他 | 64 | 135 |
| 営業外収益合計 | 781 | 759 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 13 | 8 |
| 売上割引 | 321 | 306 |
| その他 | 45 | 45 |
| 営業外費用合計 | 379 | 359 |
| 経常利益 | 6,461 | 5,597 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 0 |
| 特別利益合計 | 0 | 0 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 0 | - |
| 固定資産除却損 | 14 | 10 |
| 特別損失合計 | 15 | 10 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 6,446 | 5,587 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,914 | 1,182 |
| 法人税等調整額 | 276 | 516 |
| 法人税等合計 | 2,191 | 1,698 |
| 四半期純利益 | 4,255 | 3,888 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 57 | 141 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 4,197 | 3,746 |

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2016年11月21日 至 2017年8月20日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2017年11月21日 至 2018年8月20日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 4,255 | 3,888 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 302 | △261 |
| 為替換算調整勘定 | 1,277 | △300 |
| 退職給付に係る調整額 | 87 | △22 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 225 | △30 |
| その他の包括利益合計 | 1,893 | △615 |
| 四半期包括利益 | 6,148 | 3,273 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 6,054 | 3,167 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 94 | 105 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。